**競　技　注　意　事　項**

1 本大会は、2020年度日本陸連競技規則並びに本大会の競技注意事項により行う。

2 点呼はプログラムに記載された招集終了時刻までに張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○をし、トラック競技の場合は腰ナンバーを各自で取り、スタート地点または試技場所に完了時刻までに集合し出発係または跳躍、投てき審判のチェックを受ける。

 　※トラック競技の出場者は、倉庫前で腰ナンバーカードを受け取り、右腰に付けること。

3　点呼用紙に丸のない者又は招集終了時刻に遅れたものは、原則として危険とみなす。（危険の場合も申し出ること）

4 同時刻に２種目の競技をする者は、各競技の審判に申し出ること。その場合は、トラック競技を優先とする。

5 腰ナンバーの受け取りは原則出場者とするが、低学年及び他の種目に出場しているなど、特別な事由がある場合は、代理人の受け取りを認める。

6 選手は、その競技をする以外はトラック及びフィールド内に立ち入ることはできない。

7 アスリートビブスは、ユニフォームの胸・背部に付けること。

8 スターティングブロックの使用は小学3年生以上で、自力で「着脱」できる者とする。スターティングブロックを使用しない場合は、出発係にその旨を伝え、スターティングブロックを撤去してもらうこと。

9 スタートは、クラウチングスタートを原則とする。ただし、幼児及び小学1年生から3年生までは、スタンディングスタートでもよい。

10 スタートはイングリッシュコールとし、小学生については同じ競技者が２回の不正スタートをしたときに、その競技者を失格とする。

11 リレーのオーダーは、その競技招集終了時刻の１時間前までに競技者係に提出すること。

オーダー用紙の受け取り、提出は、競技者係（選手受付所）で行うこと。

12 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。

13　８００ｍのスタートは、すべてオープンスタートとする。

14　フィールド競技の試技は、３回の試技のあとベスト８を決定し、その後３回の試技を行う。（８名以下の競技は６回の試技を行う。ただし、小学男女のジャベリックボール投は、３回の試技とする。

15 走幅跳で砂場に入らない跳躍は計測しない。

16 小学生の走高跳（はさみ跳び）でのマットへの着地は、必ず足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。

17　ジャベリックボール投は、助走距離を１５ｍ以内とし、羽根を持ってはいけない。

18 砲丸投とジャベリックボール投の競技では、競技場備え付けのものを使用する。

ただし、朝の練習時等には貸し出さないので、各自、用意すること。

19 競技場は、フィールド内は全天候型ウレタン舗装のため、シンダー（土等）用のスパイクピンでは立ち入らないこと。なお、フィルド内でスパイクを使用する場合は全天候用で、長さは９㎜以下を使用すること。

20 選手は、スポーツマンらしい態度で競技に臨むこと。

21　万一競技中に事故等が起こった場合は、主催者は応急処置等を行うが、それ以降は責任を負わないので、

　　傷害保険等に加入の上参加を願います。

22 記録証は全員に発行し、後日郵送とする。

23　今大会の最優秀選手(男女各１名）と優秀選手（男女各2名）には、賞を授与する。

24　閉会式において、体育祭行事として抽選会を実施します。

25　観戦は健康状態が良好な人に限り、指定されたエリアのみに限ります。

26　本部内のトイレは使用不可なので、競技場前のトイレを使用してください。

27　選手、役員は健康チェックシートを必ず提出して下さい。